

■節電行動計画

事業者名	介護老人保健施設 千の風・川崎	責任者名	坂井 桂一
------	--------------------	------	-------

節電目標	使用電力 15%削減
	具体策：「千の風・川崎」節電対策参照

節電実績	6月	44,316Kwh (前年52,206Kwh) 15.1%削減
	7月	65,934Kwh (前年78,018Kwh) 15.5%削減
	8月	
	9月	

まずは、基本アクションをお願いします 実行 チェック

照明	・ 1階フロアの照明を半分程度にする。	
	・ 2～4階フロアのサービスステーションやレクリエーションの照明を2/3程度にする。	
	・ 使用しない場所の消灯を徹底する。	
空調	・ 使用していない場所の空調を停止する。	
	・ 2～4階では居室、共用スペース、サービスステーション等、エリア毎に適切な温度設定を行う。	
	・ 1階では事務室、厨房、通所等、エリア毎に適切な温度設定を行う。	
	・ 日射しを遮るために、ブラインドやカーテン等を活用する。	
その他	・ 席を離れ使用しない時間が長くなる時は、OA機器の電源を切る	

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします

照明	・ 施設で決めた基本点灯時間、消灯時間で照明管理を行う。	
	・ 施設で決めた基本点灯場所、消灯場所の徹底で照明管理を行う。	
	・ タイマー設定をしている場所の設定時間を検証する。	
空調	・ フィルターを定期的に清掃する（2～3週間に一度程度を目安）。	
	・ 出入り口、搬入口の扉を必ず閉め冷気流出を防止する。	
	・ 窓を開け換気する時間は暑さのピークを避け、その時間帯は必ず空調を停止する。	
	・ 外気取り入れ換気装置の一定時間の停止または、間欠運転によって調整する。	
	・ 1階フロアでの部分的な一定時間停止を行う。	
コンセント 動力	・ 日中の電力消費のピーク時間帯は、居住エリアを限定して空調負荷を集中させる。	
	・ 調理機器、冷蔵庫の設定温度が必要な温度に対して、高すぎたり低すぎたりしないように確認する。	
	・ 通所では営業時間帯以外は、温水洗浄便座等のプラグをコンセントから抜く。	
その他	・ 自動販売機の管理者の協力のもと、冷却停止期間の延長等の協力を求める。	
	・ 厨房、入所浴槽、通所（循環式活用でのお湯はり）浴槽での節水対策を実施する。	
	・ ゴーヤ、ヘチマ、朝顔などのグリーンカーテンを作る。	
	・ 打ち水（散水）などを行う。	
	・ 日射しを遮るブラインド、カーテン等の開閉管理を徹底する。	
	・ デマンド監視装置を導入し節電対策を実施する。	

社会福祉施設関係者への節電の啓発も大事です

節電 啓発	・ 施設全体の節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し実施する。	
	・ 節電担当者として各主任が率先して取り組み、責任者がフォローアップのためパトロールを定期的実施する。	
	・ 職員及び利用者ご家族に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。	

※ご注意 ・ 節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意下さい。